



▲県無形民族文化財の「椎村神社祭礼」が営まれ「獅子舞」と「玉の舞」を奉納（若狭・5月5日）



▲快晴の下、ハーフ、10^{km}、5^{km}、3^{km}の4種目19部門に、3,127人が参加（市内・4月28日）



▲本物のはたらく車が勢揃いし、大勢の親子連れでにぎわった（川崎3丁目・5月5日）



▲釈迦誕生を祝う行事に文化財愛護少年団「小浜市の宝を守ろう会」の児童ら20人が参加（明通寺・5月5日）



▲食文化館で親子らが、折り紙で「かぶと」やペーパークラフトで「こいのぼり」を作成（川崎3丁目・4月29日）



▲第60回全国植樹祭で天皇・皇后両陛下がお手撒きされ生育したヤマボウシの苗木を植樹（口名田小学校・5月10日）

5/14 看護の灯火に誓い



近代看護の基礎を築いたナイチンゲールの誕生日にちなんで制定された看護の日の5月14日、公立若狭高等看護学院で記念式が行われました。23期生（2年生）28人がナイチンゲールの像から採火したキャンドルの灯火の中、看護を学べる環境に感謝し、理想とする看護師になる決意を誓いました。

5/2 元気で強い子になーれ！



子どもの日を前に、中名田保育園（和多田）で、「鯉のぼりくぐり」が行われました。この行事は、園児たちが元気に大きく1年間育つように願いを込めて、同園で毎年実施。参加した4歳～5歳の児童12人は、順番に鯉のぼりをくぐり抜け、「やさしく、強い子になる」と、笑顔で話していました。

5/12 風光明媚な林道を疾走



林道若狭幹線を舞台に、「若狭ラリー 2013」が開催されました。モータースポーツクラブシンフォニーオブ京都が主催。中部、近畿地方などから集まった33台の車が、約22Kmのコースでタイムトライアルに挑みました。幹線沿いに設けられた観戦場所では、土煙を上げ疾走するラリーカーを間近に観ることができました。

5/5 笑顔あふれる交流イベント



白鬚多目的広場（つばき回廊商業棟跡地）で、小浜市身体障害者福祉連合会による「笑顔あふれるふれあいまつり」が開催されました。この事業は、市が2月から始めた同広場の利用募集を初めて活用。会場では、手話コーラスのステージや、盲導犬の体験コーナー、飲食屋台などが設置され、大勢の人でにぎわいました。